

令和3年度和歌山支部事業実施状況について

- ①令和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み . . . P 1
- ②和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について . . . P11



①令和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

令和3年度和歌山支部K P I 結果

担当	事業計画	KPI	R3目標	R3実績	達成度	R4目標	協会全体の達成度	
業務	1・ 基盤的 保険者 機能 関係	(1)	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	○	100%	△
			現金給付等の申請に係る郵送化率	95%以上	92.8%	×	95.5%以上	○
		(5)	柔道整復施術療養費の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上 of 施術申請の割合	1.01%以下	0.96%	○	0.96%以下	○
		(7)	被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率	92.7%以上	91.3%	×	93.4%以上	△
レセプト		(4)	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.411%以上	0.407%	×	0.407%以上	○
			再審査レセプト1件当たりの査定額	8,069円以上	7,215円	×	7,215円以上	○
		(6)	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	92.63%以上	87.45%	×	87.45%以上	×
			返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率	42.17%以下	57.89%	○	57.89%以上	○
保健	2・ 戦略的 保険者 機能 関係	(1)-i	生活習慣病予防健診受診率	54.0%以上	49.7%	×	58.4%以上	×
			事業者健診データ取得率	12.9%以上	13.9%	○	12.9%以上	○
			被扶養者の特定健診受診率	30.1%以上	22.3%	×	31.0%以上	×
		(1)-ii	被保険者の特定保健指導の実施率	25.2%以上	18.8%	×	30.2%以上	×
			被扶養者の特定保健指導の実施率	31.0%以上	32.8%	○	31.1%以上	○
		(1)-iii	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	13.0%以上	11.1%	×	12.4%以上	×
企画 総務	3・ 組織	(1)-iv	健康宣言事業所数	650事業所以上	634事業所	×	760事業所以上	○
		(2)	全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	61.0%以上	61.46%	○	61.6%以上	○
		(3)	ジェネリック医薬品使用割合	77.2%以上	76.2% (R4.2現在)	×	78.5%以上	未集計
		(5)	地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	実施	実施済	○	実施	×
		(5)	一般競争入札に占める一者応札の割合	20%以下	0%	○	20%以下	○

令和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策					
業務グループ	(1)	サービス水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> ■ サービススタンダード申請書（全支部共通の、受付から10営業日以内に振込までを完了させる給付金）について、日々の進捗管理を徹底し目標の100%を達成した。 ■ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の場合を除き窓口の利用をお断りしているとの、強めの説明へ切り替え、郵送による申請をしていただくように協力を求めた。しかし、窓口利用を強く望むお客様が一定数おられることで、実績値の向上は0.2%にとどまった。 ■ 電話及び窓口の接遇に係るお客様満足度調査において、満足度を向上させるため、上半期は説明スキル向上のための知識習得研修（勉強会）をグループごとで実施し、下半期は接遇スキル向上のための外部講師研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続き100%の達成を目指す。 ■ お客様に不快感を与えることのないよう、過度な郵送への誘導は控える。 ■ 事務補助員の入れ替わりが多いため、引き続き説明スキル向上のための知識習得研修（勉強会）が重要となっている。併せて今年度も外部講師研修を予定している。 ■ 令和5年1月のシステム刷新へ向け、申請書新様式を普及させ、迅速で効率的な審査・支払いを実現する。 					
							KPI	サービススタンダードの達成状況
					100%	100%	○	100%
			KPI	現金給付等の申請に係る郵送化率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
		95%以上	92.8%	×	95.5%以上			
(2)	限度額適用認定証の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ■ 医療機関の窓口申請書を設置し、限度額証の利用を促進することで、加入者サービスの向上を図った。 ■ 支部広報誌やホームページ、メールマガジンなどによる広報を定期的実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ これまでは大規模医療機関をターゲットに申請書の設置をお願いしてきたが、今後は眼科や薬局などにも申請書を置いていただくよう協力を求める。 						

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
業務グループ	(3) 現金給付の適正化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■不正事案が疑われる案件（出産手当金に伴う資格取得逆選択疑い）について、保険給付適正化会議で対策を検討し、年金機構と合同による事業所への立入調査を1件実施した。 ■傷病手当金との併給調整について、障害年金は月次で進捗管理を徹底し、労災休業補償給付は労働基準監督署と連携し、適正化に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き不正事案については、立入調査など厳格に対応する。 ■引き続き障害年金及び労災休業補償給付について、併給調整の管理を徹底する。 			
	(5) 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■多部位頻回施術の患者に対する文書照会を毎月実施した。コロナ禍の影響もあり、全国的に多部位頻回率の申請率は低下（改善）傾向となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き多部位頻回施術の患者に対する文書照会を実施する。 			
	KPI	柔整の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上の施術申請の割合	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
		1.01%以下	0.96%	○	0.96%以下	
(7) 被扶養者資格の再確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■事業所からの提出期限が20日間後にずれ込んだことに加え、本部からの受付データの遅延により、文書・電話勧奨に十分な期間が取れず、結果、目標を達成できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■スケジュール管理を徹底し、目標達成の見込みが厳しいと判断した場合は、早期の電話勧奨を実施する。 				
KPI	被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標	
		92.7%以上	91.3%	×	93.4%以上	

令和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策														
レセプトグループ	(4) 効果的なレセプト点検の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■資格点検や外傷点検については、点検マニュアルの再確認を行い、確実な点検を行った。特に令和3年9月分より開始されたレセプト振替サービスについては、支払基金と課題を共有し実施した。 ■他支部や自支部の査定事例の検証を行い、勉強会にて事例を発表することにより全体に対して情報共有を図った。また、外部講師を招いた研修を実施、新たな点検ポイントや着眼点を習得して、点検スキルの向上を図った。 ■システムを活用した点検を行うことにより効率的な点検を実施。また、システムのメンテナンスを確実に行き常に新しい情報を取り入れた点検を行った。 ■支払基金との打合せを密にし、支払基金の苦手としている点検の情報を得ることにより、支払基金と協働けんぼの点検の役割分担を行い効率的な点検を実施した。 ■支部のレセプト点検効果額は、全国2位、再審査レセプト1件当たりの査定額は、11位と全国上位である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■レセプト振替サービスを有効活用し、円滑な業務運営を行う。 ■支払基金によるAI審査の効果及び精度や支払基金の審査部門の集約（R4/10月）など変化の多い年度となることから、状況を見極めながら対応を考える。 ■令和4年度診療報酬改定に関する研修について、効果的な研修を実施する。 														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率</th> <th>R3目標</th> <th>R3実績</th> <th>達成度</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.411%以上</td> <td>0.407%</td> <td>×</td> <td>0.407%以上</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標			0.411%以上	0.407%	×	0.407%以上			
	KPI	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標											
			0.411%以上	0.407%	×	0.407%以上											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>再審査レセプト1件当たりの査定額</th> <th>R3目標</th> <th>R3実績</th> <th>達成度</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>8,069円以上</td> <td>7,215円</td> <td>×</td> <td>7,215円以上</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	再審査レセプト1件当たりの査定額	R3目標	R3実績	達成度	R4目標			8,069円以上	7,215円	×	7,215円以上					
KPI	再審査レセプト1件当たりの査定額	R3目標	R3実績	達成度	R4目標												
		8,069円以上	7,215円	×	7,215円以上												
(6) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■日本年金機構で資格喪失処理を行った後、10営業日以内に第1回目催告を実施し、更に未回収者には第1回目催告後10営業日以内に第2回目催告を実施した。 ■回収不能届により電話番号が判明している者に対しては、早期に電話催告を実施した。 ■債権回収フローに基づく催告を遅滞なく確実に実施した。 ■債権回収に有効と考えられる保険者間調整の活用を積極的に活用した。 ■納付書等が郵便返戻となった者に対する住所照会を適宜実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■昨年度末より実施している、社会保険労務士に対する早期保険証回収のお願いの効果検証を行う。 ■25,000円以上の債権については、確実に法的手続きを実施する。 ■裁判で債権の確定が行われた債務者に対し、財産調査に苦慮している。 ■扶養調書により判明した遡り喪失による、高額債権の発生が増加している。年末以降の債権発生となり高額なこともあり現年度での回収が難しい。 															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率</th> <th>R3目標</th> <th>R3実績</th> <th>達成度</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>92.63%以上</td> <td>87.45%</td> <td>×</td> <td>87.45%以上</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標			92.63%以上	87.45%	×	87.45%以上				
	KPI	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標											
		92.63%以上	87.45%	×	87.45%以上												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率</th> <th>R3目標</th> <th>R3実績</th> <th>達成度</th> <th>R4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>42.17%以下</td> <td>57.89%</td> <td>○</td> <td>57.89%以上</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標			42.17%以下	57.89%	○	57.89%以上					
KPI	返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標												
		42.17%以下	57.89%	○	57.89%以上												

令和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策					
保健グループ	(1) - i)	<p>特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上</p> <p>〈生活習慣病予防健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 健診機関不足地域や加入者の多い地域を中心に集団健診を設定。(5市1町 計14回) ■ 集団健診設定地域の近隣事業所3,198件、被保険者24,377人へ勸奨DMを送付。 <p>〈事業者健診データ取得対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業者健診データ取得に関する外部委託勸奨の実施。データ取得 4,995件(前年度 4,346件)。 <p>〈被扶養者の特定健診対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 協会主催の集団健診開催日数の拡大。32回開催(前年度28回) ■ 自治体ががん検診との同日実施の機会拡大。(紀の川市と連携を開始し、2日間集団健診開催) ■ 和歌山適用他府県在住者に対し、協会他支部の設定している集団健診案内を送付。(大阪、兵庫在住者) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健診機関不足地位を中心に、集団健診の場を提供し、受診機会拡大につなげる。 ■ 健診受診率が低い事業所を対象に、生活習慣病予防健診への切り替え、および事業者健診データ提供勸奨を進めていく。 ■ 集団健診の開催と、適切な時期に勸奨DMを送付する。 ■ 大阪支部と連携した相互勸奨実施。 					
			KPI	生活習慣病予防健診受診率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
					54.0%以上	49.7%	×	58.4%以上
			KPI	事業者健診データ取得率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
		12.9%以上	13.9%	○	12.9%以上			
KPI	被扶養者の特定健診受診率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標			
		30.1%以上	22.3%	×	31.0%以上			

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策				
保健 グル ープ	(1) - ii)	<p>特定保健指導実施件数 被保険者 2,681件（前年度 2,201件） 被扶養者 215件（前年度 188件）</p> <p>〈被保険者の特定保健指導対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 特定保健指導外部委託の推進 健診機関・民間業者による保健指導実施：評価464件（前年度414件） 民間業者による保健指導は I C T 遠隔面談・エバグリーン保険調剤薬局での特定保健指導実施 中谷病院で健診当日特定保健指導を開始。また、船員保険大阪健康管理センターの集団健診で 当日保健指導を開始。 ■ 支部が初回面談を実施した者の継続支援を民間業者へ委託。評価2,095件（前年度1,629件） <p>〈被扶養者の特定保健指導対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 協会主催の集団健診で、健診当日の特定保健指導を実施できる会場を拡大。 27会場で実施。（332人初回面談実施） ■ 日曜日にヘルスアップ相談会を開催（事業所での面談ができなかった方へ個人勧奨を実施） 歯科検診・ベジチェック測定・特定保健指導を実施 参加者 9/12：12名 12/5：10名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健診当日の特定保健指導実施機関の拡大。健診実施数が多い健診機関の開拓 協会主催の集団健診の機会を、当日保健指導の実施を広げる。 ■ 特定保健指導実施事業所の開拓 事業者健診データ提供事業所、健康づくりチャレンジ運動登録事業所などを対象に特定保健指導実施事業所の拡大を図る。 ■ 事業所での保健指導実施が難しい人への I C T 遠隔面談や保険調剤薬局での保健指導などを案内し利用機会の拡大を図る。また、個人の自宅宛て案内勧奨も実施する。 				
		KPI	被保険者の特定保健指導の実施率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
				25.2%以上	18.8%	×	30.2%以上
		KPI	被扶養者の特定保健指導の実施率	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
				31.0%以上	32.8%	○	31.1%以上
保健 グル ープ	(1) - iii)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高血圧・糖尿病未受診者への文書勧奨・電話勧奨・訪問による受診勧奨を実施。 二次勧奨：（文書：2,128件 電話：112件 面談：347件） * 連続して受診勧奨対象となっている方へ、同年代の方と比較した結果通知の情報提供を実施 マイヘルスレポートの送付（186件） ■ 腎機能の疑いのある方への専門医への受診勧奨および保健指導の実施。 （受診勧奨 71件 保健指導 0名） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一次勧奨実施後の受診率が昨年度12.9%よりも減少している。コロナの流行により受診行動控えの影響があったのではないかと考えられるが、要因分析をし、対策を検討する。 令和4年度10月から、LDLコレステロール高値者への受診勧奨も始まるため、リーフレット作成の見直しも検討する。 				
		KPI	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
				13.0%以上	11.1%	×	12.4%以上

和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策			
(1) -iv)	コラボヘルスによる 健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ■健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を和歌山県と共同実施。（新規登録事業所112社） ■「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録勸奨を実施。（文書5,800件、電話100件、事業所訪問10件） ■登録事業所に対するサポートの実施。（健康講座12件、血管年齢測定器55件・Inbody・出前講座申し込み34件） ■健康経営優良法人認定に対するフォローの実施 44社→87社認定（協会加入事業所） ■オンラインによる健康経営セミナーの開催(9月7日) ■健康経営事例集を作成し、わかやま健康づくりチャレンジ運動の事業所に配付。 ■生命保険会社4社と事業推進のための連携協定を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康経営優良法人認定数の拡大 ■健康宣言全国標準化に向けた「わかやまチャレンジ運動」取り組み内容の検討。 ■健康宣言後のフォローアップの強化を図る。 			
		KPI 健康宣言事業所数	R3目標 650事業所以上	R3実績 634事業所	達成度 ×	R4目標 760事業所以上
(2)	広報活動や健康保険 委員を通じた加入者 等の理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ■広報計画に基づいた各種媒体（HP・メルマガ・県広報誌・地域生活情報誌等）を利用した広報を行った。 ■健康保険委員の委嘱拡大のため、登録勸奨を実施した。 ■永年の活動や功績に対して感謝の意を表すため、健康保険委員表彰（理事長表彰3名、支部長表彰13名）を行った。 ■支部独自で1万社に事業所アンケートを実施し、広報の認知状況や事業所の要望等を調査した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康保険委員数を増加し各事業所への協会関係事業の理解を向上を目指す。 ■小規模事業所への健康保険委員登録勸奨。 ■加入者理解率の向上、ホームページ、メールマガジンの閲覧者の増加を目指す。 			
		KPI 全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	R3目標 61.0%以上	R3実績 61.5%	達成度 ○	R4目標 61.6%以上

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策				
(3)	ジェネリック医薬品の使用促進	<ul style="list-style-type: none"> ■ ジェネリック医薬品軽減額通知を送付（2月） ■ 路線バスおよび公用車を活用した広報を実施。（ラッピング、車内吊り広告、車内放送） ■ 郵便局内にてポスター広告を実施。 ■ 後発医薬品リストを調剤薬局に提供およびホームページで公開。 ■ 和歌山県医薬品安心安全使用懇話会で取組を発表（3月） ■ 医療機関及び薬局への使用促進のための訪問説明。 ■ ジェネリック医薬品の日（12月22日）に向け、計28本のTVCMを実施。また、12月22日当日にローカル番組内で支部長出演により使用促進を啓発した。 ■ ジェネリック医薬品の日に向け、計34本のラジオCMを実施。また、ラジオ放送の番組内でジェネリックの宣伝を3日間実施。 ■ 先発品「ロキソニン錠」を処方された加入者への使用促進リーフレット送付 ■ 医療機関、薬局に対する情報提供ツールによる自院のジェネリック利用状況通知の送付。 ■ 支部長が医師会を訪問し、医師会長と和歌山の現状と問題点について意見交換し、協力依頼を行った。 ■ 和歌山県薬剤師会の研修会において和歌山支部のジェネリック医薬品の使用状況について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 加入者に対する効果的な広報の実施。 ■ 医療機関、薬局に対する、訪問説明など直接的な働きかけの実施。 ■ 県業務課、県薬剤師会他保険者との連携の推進。 				
		KPI	ジェネリック医薬品使用割合	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
				77.2%以上	76.2% (R4.2現在)	×	78.5%以上
(4)	インセンティブ制度の取組・広報	<ul style="list-style-type: none"> ■ HP、メルマガ「協会けんぽわかやま通信」等での和歌山支部の実績を踏まえた広報を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業所アンケートの結果、理解率が低いため、加入者にとって分かりやすい制度の周知を図る。 				
(5)	地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域医療構想の実現に向けて協議の行われる「地域医療構想調整会議」において、県内7医療圏中、6医療圏に和歌山支部から委員を選出し、参画し意見発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療費情報等を分析研究し、効果的な意見発信を行えるよう体制を整備する 				
		KPI	他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議での医療データ等を活用した意見発信の実施	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
				実施	実施済	○	実施

令和3年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

3. 組織体制関係		主な取り組み内容等	今後の課題と対策				
企画 総務 グループ	(1) 人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の効率化等の推進により、標準人員に基づく人員配置を適正に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今後も引き続き、業務効率を踏まえた人員配置を適切に実施する。 				
	(2) 人事評価制度の適正な運用	<ul style="list-style-type: none"> ■実績及び能力に紐づいた評価の実施。 ■適切な目標を立てられるよう、管理職による面談を実施。 ■結果についての振り返りとしてフィードバック面談を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■目標設定を通じて、自身の役割を認識させ、実績の向上につなげ、能力、実績に紐づいた適正な評価を実施する。 				
	(3) OJTを中心とした人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ■各グループ長がOJT指針を作成し、グループごとの課題に応じた人材育成を実施した。 ■お客様満足度調査結果の内容を分析し、電話応対について独自研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、OJT、集合研修、自己啓発により、必要とされる知識を習得できる機会を提供する。 				
	(4) 費用対効果を踏まえたコスト削減等	<ul style="list-style-type: none"> ■随意契約にあって、100万円を超える案件については、調達審査委員会で調達内容、方法等を審議し、調達の適正化を図った。 ■その他少額案件についても、見積競争を実施し、コスト削減に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■支部経費節減マニュアルを改修しコスト意識を高める。 				
		KPI	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	R3目標	R3実績	達成度	R4目標
				20%以下	0%	○	20%以下
(5) コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■コンプライアンス委員会の定期開催（2回）。 ■支部コンプライアンス研修の実施。 ■本部コンプライアンス通信による啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、研修等を通じて、コンプライアンス基本方針、行動規範の理解及び浸透させるなどの意識醸成を図る。 					
(6) リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ■災害リスクに対しては、安否確認システム、支部初動対応訓練及びビルにおける避難訓練を実施した。 ■個人情報保護、情報セキュリティに対しては、毎月管理職による端末チェック、半期ごとに自主点検及び全職員への研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■定期的な訓練及び職員向けの啓発を実施し、危機管理にかかる習熟度を維持していく。 					

②和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について

和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について(令和3年度)

(単位:円)

事項	取組名	予算	経費	
医療費適正化	1 健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー・コースの出版	343,520	0	
	2 ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催	277,520	0	
	3 精神疾患治療者へのジェネリック使用促進通知事業(リーフレット送付)	5,500	0	
	計	626,540	0	
保健事業	4 事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果シート取得勸奨等の外部委託	7,315,000	6,548,300	
	5 被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費	8,313,250	4,325,801	
	6 和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	49,500	34,397	
	7 生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診者の獲得および協会主催による集団健診の実施	1,423,400	691,746	
	8 任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内	861,850	565,041	
	9 被扶養者向け かん同日実施の集団健診における広報(案内)	1,175,000	163,578	
	10 特定保健指導の利用勸奨	1,210,000	315,040	
	11 重症化予防対策(尿蛋白陽性者及び高血圧併発者)に対する受診勸奨)	598,950	358,000	
	12 健康経営事例集の作成	967,870	957,000	
	13 健康宣言事業所サポート事業	1,931,665	1,043,820	
	14 健康経営促進セミナーの実施	453,200	345,950	
	15 事業所カルテ作成事業	330,000	0	
	16 歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	310,906	232,840	
	17 集団健診後の結果説明会及び特定保健指導の実施	8,622	0	
		計	24,949,213	15,581,513
	広報・意見発信	18 紙媒体による広報	2,297,000	1,422,449
		19 地域情報紙とWEBのコラボ広報(LIVING和歌山)	686,400	686,400
20 地域情報誌への広告掲載(まみたん)		1,267,200	1,101,100	
21 県広報誌への広報		1,540,000	1,540,000	
22 バス車両ラッピング広告による広報		528,000	528,000	
23 バス車内広告		343,200	409,200	
24 バス車内放送広告		396,000	396,000	
25 郵便局内での広報用ポスターの掲示		67,100	6,600	
26 TV局のスポンサーCMの活用による広報		396,770	396,000	
27 ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)		304,000	299,200	
28 「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展ほか		21,499	0	
29 事業所アンケートの実施		1,468,885	1,045,000	
	計	9,316,054	7,829,949	
	合計	34,891,807	23,411,462	

和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について(令和3年度)

事業名	1	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出展
事業内容	概要	一般加入者向けに地元地方紙の健康イベント時に健康保険制度、医療費、適正な医療のかかり方、インセンティブ、GEなどに関するセミナーを実施する。
実績等		コロナ禍の影響によりイベントが中止となったため未実施。

事業名	2	ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催
事業内容	概要	薬剤師会や和歌山県等の関係機関と連携し、加入者や医療関係者に向けジェネリック医薬品の啓発セミナーを実施し、ジェネリック医薬品使用率の向上を図る。
実績等		和歌山県薬剤師会と連携し、薬剤師研修の一環としてジェネリック医薬品に関するセミナーを実施。職員が講師となって、全国下位に沈むジェネリック使用割合の現状や、使用割合向上にあたっての課題、協会けんぽの取組等について説明を行った。薬剤師に対しセミナーを実施することで県内のジェネリック医薬品の状況について情報共有することができた。

事業名	3	精神疾患治療者へのジェネリック使用促進通知事業(リーフレット送付)
事業内容	概要	データブック「医療機関別・薬局別ジェネリック医薬品普及率」において使用率が低く、影響度が高い医療機関等に受診している加入者に対して、ジェネリックにかかるリーフレットを送付する。
実績等		精神疾患患者に対するアブローチは慎重を要するため、本部のアドバイザーもあり、対象者を変更。同じ中枢神経系用薬で用量が多く、全国よりもジェネリックの使用割合が低い消炎鎮痛剤のロキソニン錠を処方されている133名の加入者を調剤シートの抽出し、使用促進のリーフレットを送付。通知後にロキソニン錠が後発品に変わったのが確認できたのは1名のみであった。また、効果測定時に新たに別の薬剤でジェネリックが追加処方された患者も数名いたが、通知前からジェネリックが併用されており、通知の効果によるものか判断が困難であった。

事業名	5	被扶養者向け 協会主催の集団健診実施にかかる経費
事業内容	概要	がん検診と同日実施できない市を中心に協会主催の集団健診(無料)を実施し、未受診者の再勧奨を行う。 協会主催の集団健診として実施のうえ、無料で健診を受ける機会の提供を拡大するとともに、健診受診率向上を図る。
実績等		骨密度測定を付加した協会主催の集団健診を32回開催。(R2年度は28回)。年3回未受診者へ勧奨実施。(計83,976件送付)

事業名	6	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業
事業内容	概要	和歌山県医師会を通じて、各医療機関に特定健診案内用ポスターを配布し、掲示、広報することで周知を図る。
実績等		年度末に4年度分590部作成。医師会協力のもと、傘下の医療機関に送付。

事業名	7	生活習慣病予防健診同時勧奨による新規受診者の獲得および協会主催による集団健診の実施
事業内容	概要	集団健診の設定を行い、会場近隣の未受診事業所及び対象者個人へ勧奨を実施し、生活習慣病予防健診受診率向上を図る。
実績等		集団健診会場を5市1町で設定し、勧奨DMを事業所3,198、被保険者24,377人へ送付。

事業名	8	任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診の案内
事業内容	概要	任意継続及び新規適用加入者への生活習慣病予防健診及び特定健診を案内を実施し受診率向上を図る。
実績等		一斉発送は5月末、その後、12月まで毎月新規任意継続対象者に発送。(年間計被保険者2,941件、被扶養者1,572件)

事業名	9	被扶養者向け がん同日実施の集団健診における広報(案内)
事業内容	概要	がん同日実施の集団健診に特化した広報並びに、未受診者への勧奨を行い、特定健診受診率の向上を図る。
実績等		一斉発送時にカーブが出来ていない個別地域への勧奨を実施(1市3町)

事業名	10	特定保健指導の利用勧奨
事業内容	概要	特定保健指導実施事業所の開拓および特定保健指導実施者数の増加を図る。
実績等		特定保健指導の案内を事業所宛に送付。案内送付後、事業所宛電話勧奨を実施。1,929社へ案内を送付し、保健指導受け入れ事業所 1,159社(受入率60.1%) 面談実施件数2,380件(前年度2,461件:対前年比96.7%)

事業名	11	重症化予防対策(尿蛋白陽性者及び高血圧併発者)に対する受診勧奨)
事業内容	概要	経年的に対象となっている未受診者に対し、健康リテラシーの向上を目的に、マイヘルスレポートを配布。自身の健診結果の状態を知ってもらい、行動変容につなげたい。
実績等		2年以上連続で対象となっている方を対象に、マイヘルスレポートを送付。マイヘルスレポート186件送付。

事業名	12	健康経営事例集の作成
事業内容	概要	健康宣言事業所に対し健康経営事例集を配布し、健康づくりの取り組みの参考にしてもらい今後の取り組みに活用していただく。
実績等		県内で健康経営優良法人の認定を受けた15社に取材を行い、各社の取り組みの実践例をまとめた事例集を作成した。健康宣言を行う事業所に、健康経営優良法人2022の県内認定状況をお知らせする広報と一緒に配付。 健康経営優良法人の認定を受けたトヨタランナーの事業所の取り組みを紹介することで、健康経営の推進や、健康経営優良法人認定取得へのステップアップを促した。

事業名	13	健康宣言事業所サポート事業
事業内容	概要	和歌山県との健康づくりに関する協定に基づいて、健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を県民運動として実施するもの。チャレンジ運動登録を契機に事業主が率先して会社の健康づくりに取り組み、取組結果をレポートする。さらに、必要な要件を満たした場合は、和歌山県の「わかやま健康推進事業所」の認定も受けることができる。
実績等		健康宣言事業所にチャレンジ運動のサポートブックを作成し、健康経営に関する周知を行った。また、健康づくりに取り組む宣言事業所で希望のあった事業所に対し、健康機器の貸出や出張講座（外部委託）を実施した。 血管年齢測定器貸出 申込み33件 InBody測定実施 16件 ストレッチ出前講座実施 9件 健康講座（メンタルヘルス、禁煙など） 11件

事業名	14	健康経営促進セミナーの実施
事業内容	概要	健康経営に関する講演等を実施し、健康経営を実践するよう啓発を行う。あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。
実績等		県内の事業所に対し、健康経営優良法人の認定取得を目指すことを目的としたオンライン形式のセミナーを開催した 講演は近畿経済産業局と委託業者に講師を依頼し、申請に関する内容と、健康経営の実例を紹介する2部構成で実施。 案内チラシの配付やメルマガ、電話勧奨等による広報を行い、参加申し込み101件（事前申込）、当日参加96件となった。 事後アンケートにより93%が「わかりやすかった」と回答し、認定取得を検討する事業所も多数あり、全体的に満足度の高い結果となった。

事業名	15	事業所カルテ作成事業
事業内容	概要	健康宣言事業の登録事業所に対し、最新データに基づく事業所カルテを提供して、自社の医療費や健診受診の現状を把握することで、事業所内の健康づくりの取組を促進する資料として活用してもらう。 そのほか、健康宣言未登録の事業所に対し、登録勧奨のための訪問時に配布し、健康づくりへの関心を持たせるための参考資料として使用し、健康宣言事業への登録を促す。
実績等		本部提供の事業所カルテを編集し、支部で独自にカルテを作成。 健康宣言事業所に対し、1年間の取組チェックシートを発送する際に、次年度の健診受診率等の数値目標を立ててもらったための参考資料として、事業所カルテを同封した。 また、健康経営優良法人の勧奨のための事業所訪問の時に活用した。

事業名		16	歯科検診とのコロナによる特定保健指導の開催
事業内容	概要	<p>特定保健指導と合わせて、歯科検診を開催。年間2回 和歌山市内で開催する。</p> <p>歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。</p> <p>また、糖尿病重症化予防等に歯周病予防との関連があることから、歯科検診を通じて、歯周病予防につなげる。</p>	
実績等	<p>特定保健指導を事業所で実施できていない方を対象に、ヘルスアップ相談会を休日に開催。2日間開催。(9/12:12名 12/5:10名参加)</p> <p>歯科検診およびベジエツク測定を行い、参加者を募集した。</p> <p>ゆっくりと歯科検診および保健指導の相談を行うことができ、利用者には好評であった。</p> <p>また、特定保健指導を受けたことがない新規利用者の獲得につながった。</p>		

事業名		17	集団健診後の結果説明会及び特定保健指導の実施
事業内容	概要	<p>みなべ町と連携し、集団健診受診者を対象に、後日結果説明会を開催。健康相談および特定保健指導を実施する。特定保健指導の実施が目的ではあるが、健康相談を実施することで、健康リテラシーの向上を図り、特定保健指導対象者を減らす効果を期待している。</p>	
実績等	<p>コロナの影響により、みなべ町と連携して行っている 集団健診後の結果説明会は中止。</p> <p>特定保健指導対象者に対し、保健指導の案内を送付し、みなべ町保健センターにて、個別面談を実施。(対象者 4名 全員に実施)</p>		

事業名	18	紙媒体による広報		実績
事項 (詳細)	目的 (使途項目)	実施時期	配布対象者	
納入告知書同封チラシ	毎月、事業主あてに送られる納入告知書に同封する広報チラシを作成する	通年	事業所	事業主・事業所担当者・被保険者への周知及び情報提供
事業案内用卓上カレンダーの作成	毎日目にする卓上カレンダーに健診案内等を記載し、広く事業を広報する	令和3年11月	健康保険委員他	事業主・事業所担当者・被保険者への周知及び情報提供
保険証の適正使用啓発ポスターの作成及び医療機関への配付	受診適正化	未実施	加入者	マイナンバーカードの保険証化に伴い、検証する必要性が生じたため翌年度実施とした

事業名	19	地域情報紙とWEBのコラボ広報(LIVING和歌山)		実績
事業内容	概要			
実績等	<p>地域の情報紙(ジャーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナーを活用し、健診及び保健事業案内、協会けんぽイベント案内、ジェネリック使用促進、業務関係案内、インセンティブ制度等の周知等、情報提供を図る。</p> <p>地域の情報紙(ジャーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナーを活用し、「協会けんぽインフォメーション」と題して、健診等の保健事業案内、ジェネリック医薬品の推進、インセンティブ制度等の周知等、情報提供を図ることができた。</p> <p>また、特に目立つフロント面にジェネリック広告を掲載し、協会けんぽホームページへの誘導を図った。</p> <p>和歌山支部が独自で実施したアンケートでは、本紙で協会けんぽ広報を見たことがある割合は10.4%となった。</p>			

事業名	20	地域情報誌への広告掲載(まみたん)		実績等
事業内容	概要			
実績等	<p>子育て応援冊子「まみたん」の購読者層(園児の親世代)にあわせた広報を作成し、子ども医療費適正化や健康保険制度、健診等の案内をマンガ形式で掲載した。</p> <p>会社からの情報が届きにくい人へ広報できる媒体であるため、より多くの人への事業周知という面で効果的であったと考えられる。</p> <p>和歌山支部で独自に実施したアンケートでは、協会けんぽの広報をみた割合は6.2%となった。</p>			

事業名	22	バス車両ラッピング広告による広報
事業内容	概要	和歌山市内のバスにラッピング広告を掲載し、「健診受診促進」や「ジェネリック医薬品使用促進」の広報を行う。
実績等		和歌山市内を走るバス1台に、健診受診促進（11月末まで）とジェネリック医薬品使用促進（12月からの）バス車両ラッピング広告を掲載した。 和歌山支部が独自で実施したアンケートでは、本広告を見たことがある割合は4.2%となった。

事業名	23	バス車内広告
事業内容	概要	和歌山市内のバス車内に広告及びポスターを掲示し、「ジェネリック医薬品使用促進」や「健診受診促進」の広報を行う。
実績等		12月の「ジェネリック医薬品の日」にあわせ、和歌山市内を中心として走行するバス110台に「ジェネリック医薬品の使用促進」を案内するポスターを掲載した。

事業名	24	バス車内放送広告
事業内容	概要	JR和歌山駅の最寄りのバス停「新内」の到着時に路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」等の事業案内の音声放送を実施する。これにより、協会けんぽの各事業に対する取り組みを乗客にアピールし周知を図るもの。
実績等		JR和歌山駅の最寄りのバス停「新内」到着時に、路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」に係る案内放送を実施。協会けんぽのジェネリック医薬品使用促進に対する啓発を行い、支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上を目指した。

事業名	25	郵便局内での広報用ポスターの掲示
事業内容	概要	県内の主要郵便局（和歌山中央郵便局）の広告スペースに、支部イベント等のポスターを掲示し、郵便局に来所する加入者に向けた広報活動を行う。
実績等		商工まつりにおける集団健診のポスターを掲載する予定だったが、商工まつりが中止になったことにより、ジェネリック医薬品の使用促進ポスターに内容を変更した。 和歌山中央郵便局利用者の待ち時間目に入るポスターとなり、広くジェネリックの訴求をすることができた。

事業名	26	TV局のスポットCMの活用による広報
事業内容	概要	地元TV局のCM枠に、大規模イベントの参加に合わせ支部事業について広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。
実績等		地元TV局(テレビ和歌山)にて、12月22日の「ジェネリック医薬品の日に合わせたジェネリック医薬品使用促進CM(15秒)を放映。当日は支部長が情報番組に出演し、ジェネリック医薬品の促進広報を行った。 ジェネリック医薬品の理解度向上のため、ジェネリック医薬品の日の10日前よりCMを放映し、当日はローカル情報番組に出演することでPRの相乗効果を狙った。 事後の事業所アンケートでは事業所担当者の8.7%が見たことがあると回答。

事業名	27	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)
事業内容	概要	和歌山市を中心とするコミュニティFM放送の録音CM(約20秒)及びバーチャリテリによるCMで大規模イベントに合わせた支部事業広報、集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。 県内全域をカバーする地元ラジオ局(和歌山放送)にて、12月22日の「ジェネリック医薬品の日に合わせたジェネリック医薬品使用促進CM(20秒)を放送。 ラジオ内の情報番組に支部職員が3回生出演し、ジェネリック医薬品に関する広報を発信。 ジェネリック医薬品使用の啓発により、支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上を目指した。 事後の事業所アンケートでは事業所担当者の2.2%が視聴したと回答。 放送後にラジオの視聴者から2件の問い合わせがあった。
実績等		

事業名	28	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展ほか
事業内容	概要	和歌山県保険者協議会の一員として、和歌山県福祉保健部健康推進課・農林水産部果樹園芸課の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出展を行う。
実績等		コロナの影響により未実施

事業名	29	事業所アンケートの実施
事業内容	概要	加入事業所に対し協会けんぽの事業に対するアンケートを行い支部事業のニーズ等を収集することで今後の広報や各種事業(インセンティブ、健康宣言事業、医療費適正化、保険事業等)展開に活用する
実績等		加入事業所に対し、支部の広報事業の認知状況や、職場の健康づくりの課題、健康保険事務に関する要望等を調査するアンケートを実施。 加入事業所10,000社にアンケートを送付し、2,928件の回答があった。 広報の理解度や、事業所の要望等を確認することができた。また、事業所の規模や業種別にクロス集計を行うことで、規模や業種による課題の差異も見えてきた。